

タグラグビー「楽しい」

おおぞら小児童、魅力に触れる

三沢

魅力に触れた。

市が実施するオリンピックが講師に招いた。

三沢市立おおぞら小(今田純二校長)の5、6年生35人が26日、同校体育館で、ラグビーを基本にした気軽に楽しめる「タグラグピック」の協力を得て、八

チームに分かれ、ラグビーの基本ルールを説明。児童は四つの

チームに分かれ、ラグビーの基本ルールを説明。児童は四つの

チームに分かれ、ラグビーの基本ルールを説明。児童は四つの

チームに分かれ、ラグビーの基本ルールを説明。児童は四つの

チームに分かれ、ラグビーの基本ルールを説明。児童は四つの

チームに分かれ、ラグビーの基本ルールを説明。児童は四つの

チームに分かれ、ラグビーの基本ルールを説明。児童は四つの

チームに分かれ、ラグビーの基本ルールを説明。児童は四つの

チームに分かれ、ラグビーの基本ルールを説明。児童は四つの

チームに分かれ、ラグビーの基本ルールを説明。児童は四つの

チームに分かれ、ラグビーの基本ルールを説明。児童は四つの

チームに分かれ、ラグビーの基本ルールを説明。児童は四つの

チームに分かれ、ラグビーの基本ルールを説明。児童は四つの

5年の高谷美唯さん(11)は「こんなに楽しいならラグビーもやってみたいと思った」とこり。6年の柏木滉瑛君(12)は「ラグビーはタックルがあって怖いと思っていたけど、そのイメージがなくなった」と感想を話した。

(齋藤桂)



タグ取り鬼ごっこを楽しむ子どもたち